

経営 ザクセン州における伝統にもとづく革新

原題：Innovation aus Tradition im Bahnland Sachsen
誌名：ETR：Eisenbahntechnische Rundschau Vol.66 No.9(2017-9) pp.14-17

ザクセン州は175年前から長い伝統に立脚し、今日もドイツにおいて鉄道技術のトップの座を守っています。ドイツにおける鉄道技術部門の全従業員51,000人(240社超)のうち、約13,000人がザクセン州に勤務しています。また、彼らの売り上げは全国の同部門の売上高(約10億ユーロ/年)のほぼ5分の1を占めています。中規模程度の経済と優秀な科学・技術との緊密な統合は、同州における非常に革新的な力の源泉となっています。鉄道車両、インフラおよびシステムエンジニアリングなどすべての市場セグメントで、旅客鉄道および鉄道貨物輸送における技術的な優位性を保持しています。BTSクラスター・プロジェクトのEcoTrainは、将来の有望な構想として、「ドイツ国家構想2016」賞が授与されました。



出典:Eisenbahntechnische Rundschau

エアフルト-ライプティヒ/ハレ高速線

輸送 モスクワ〜カザン間的高速鉄道は2018年に着工

原題：Work to start next year on Moscow-Kazan high speed line
誌名：RGI：Railway Gazette International Vol.173 No.9(2017-9) pp.54-57

モスクワとタタールスタン共和国(ロシア国内)の首都カザンを結ぶ軌間1520mmの高速専用鉄道である、延長790kmの建設計画が進んでいます。最初の172km区間の承認はほぼ得られており、この区間は試験走行に利用されます。軌道構造は気候が似ている中国のハルビン〜大連間と同一のバラストレス軌道です。このプロジェクトの技術コンサルティングはフランスの会社で、工事は2018年に着工し、完成は2022年で、2023年に営業運転の予定です。所要時間は3時間17分、初年度の輸送人員は1千万人を見込んでおり、工費は2000億ユーロで、車両は国産化率80%を目標にしています。



出典:Railway Gazette International

モスクワとサンクトペテルブルグを結ぶ高速列車サバン

構造物 マルチモーダル対応の貨物積み替え駅

原題：Neuer multimodaler Umschlagbahnhof für Luxemburg
誌名：ETR：Eisenbahntechnische Rundschau Vol.66 No.9(2017-9) pp.40-45

CFL(ルクセンブルク国鉄)はベトンプールに新しいマルチモーダル用の積み替え駅を建設し、2017年7月7日に引き渡されて運用を開始しました。インターモーダル駅は4つの軌道を有するコンテナターミナルからなり、それぞれは700m長の列車を停留でき、2つのガントリークレーンで作業できます。年間積み替え能力は30万国際輸送単位です。それと並行して、2本の700m長のピギーバック列車の積み下ろしが同時に可能です。駅は積み替え作業を行うだけでなく、コンテナの積み重ね保管も提供します。



出典:Eisenbahntechnische Rundschau

ベトンプールの新しいマルチモーダル積み替え駅

軌道 寒冷地的高速鉄道

原題：High speed in a cold climate
誌名：RGI：Railway Gazette International Vol.173 No.9(2017-9) pp.52-53

中国におけるPDL(高速旅客鉄道網)は過去10年にわたり驚異的な勢いで拡大しており、今後もしばらく拡大し続けると考えられますが、地勢的、気候的条件の厳しい地域への拡大にとってもなると、設計、運行、保守に関する技術的なハードルは飛躍的に高いものとなっています。新設されるPDLはバラストレス軌道を基本とし、北部への延伸にもなると、氷点下35℃においても、パッドの硬化度合いが常温時の20%以下となるような新たな材料の開発が必要とされます。そこで、新しいポリウレタン材を開発してこれをクリアするとともに、高度の弾性維持と長寿命化という相反する命題を両立させることに成功しました。



出典:Railway Gazette International

スラブ軌道上の弾性締結装置



WRT(海外鉄道技術情報)は海外主要鉄道誌の記事抄訳を含め、海外の最新の鉄道技術情報をタイムリーに紹介する季刊誌です。ここに紹介した記事はその一部です。
⇒新刊案内、バックナンバーは総研HP(www.rtri.or.jp)をご覧ください。
⇒問合せ(研友社) TEL: 042-572-7157 HP: www.kenf.jp